

2022年(令和4年)5月25日(水曜日) 17

若者雇用新事業へ意欲

更別村と連携協定

キャリア技研

【更別】南十勝を拠点にドローンを使ったエゾシカ駆除などに取り組むキャリア技研(名古屋)は、村と防災や人材育成などで協力する連携協定を結んだ。同社は先端技術を活用した地域づくりを進める村の戦略に注目。今後、村内に新たな事業所を開設し、若者の雇用につながる新たな事業展開も目指す。

(高橋澄恵)

まずシカ駆除に着手

同社は自動車の立体設計図の作成をはじめ、ドローンの開発、「空飛ぶ車」の実現に向けたソフト開発などを手掛ける。村役場で16日に開いた締結式で、富田

大樹町で加工するエゾシカ肉の缶詰を手に「更別村でも新たな産業をつくり、地域の若者の雇用につなげたい」と語るキャリア技研の富田茂社長

大樹町で加工するエゾシカ肉の缶詰を手に「更別村でも新たな産業をつくり、地域の若者の雇用につなげたい」と語るキャリア技研の富田茂社長

更別村役場

「各企業が垣根を超えて情報交換できる。イノベーションが生まれる場になる」と更別発の新事業展開に期待を寄せた。

2017年からは大樹町を拠点にドローンでシカを追い立てる手法を研究。18年には同社員らが出資するシユラテクノロジを町内に設立し、今年4月から捕獲したシカ肉を使った缶詰の加工販売を始めた。協定に基づき、まずはシ



に大樹、広尾、幕別の3町と18年に協定を結んでおり、夜明け前に赤外線カメラを搭載したドローンを飛ばしてシカの居場所を特定し、ハンターの待ち伏せる地点に追い立てる方法で、駆除に協力している。更別も加わることで、町村の境界をまたいで逃げるシカの駆除が可能になる。

村は本年度、村内の街並みや山林を仮想空間で立体的に再現する3D地図を作成する。この地図を基に、シカの逃げる経路を予測し、駆除の効率化に役立てるといふ。

西山猛村長は「誘致した企業はそれぞれ異なる強みを持つている。互いの連携を促し、農業や物流など日本中の農村地域が抱える課題解決につなげたい」と話